



## 平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月27日

上場会社名 三菱鉛筆株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7976 URL <http://www.mpuni.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 長谷川 直人 TEL 03-3458-6215  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	48,048	0.1	8,270	△12.4	7,593	△21.7	4,938	△22.1
27年12月期第3四半期	48,020	9.8	9,441	26.1	9,698	22.3	6,338	23.5

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 993百万円 (△84.9%) 27年12月期第3四半期 6,572百万円 (13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	171.55	—
27年12月期第3四半期	220.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	96,392	75,488	76.9	2,575.70
27年12月期	100,368	75,598	74.0	2,580.77

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 74,144百万円 27年12月期 74,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
28年12月期	—	19.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無  
 28年中間配当金19円は、創業130年記念配当金1円を含んでおります。

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	1.2	11,000	△7.2	9,500	△22.9	6,500	△12.5	225.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期3Q	32,143,146株	27年12月期	32,143,146株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	3,356,950株	27年12月期	3,356,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期3Q	28,786,644株	27年12月期3Q	28,787,517株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日から平成28年9月30日まで）におけるわが国経済は、個人消費の低迷など一部に停滞感が伴ったものの、政府や日本銀行による各種経済政策を背景とした雇用・所得環境の改善に弾みがついて成長軌道を描くことが期待されました。一方、昨年までの円安基調から一転して円高に振れだした為替相場は製造業を中心とした企業の先行きに影を落とし、株式市場も活況を呈しているとは言い難い状況が続いております。また日本銀行による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」は、企業による資金調達を更なる好環境へと誘うこととなりましたが、現段階ではその効果も限定的であり、総じて景気に対する不透明感を感じさせる中で推移いたしました。

当社グループが属しております筆記具業界におきましては、ボールペンなど高付加価値に支えられた一部の商品には引き続き市場拡大が期待出来るものの、主要メーカー各社が積極的な商品投入するなかで市場競争は激しさを増し、他社との差別的な優位性を確保するための商品開発への重要性を再認識させる厳しい環境が続くこととなりました。

このような経営環境の中で、創業130年の節目を迎えた当社グループは「最高の品質こそ最大のサービス」という社是の原点に立ち返り、高付加価値で高品質な商品開発に注力するとともに、新しい筆記カテゴリーの創造に挑戦してまいりました。『なめらかボールペン』市場を掘り起こした油性ボールペン「ジェットストリーム」シリーズが一段と勢いを増すなか、『空気のように軽い書き味。』が持ち味の水性ボールペン「ユニボール エア」、『日本発の新素材』×『日本企業の高度な技術力』で訴求するゲルインクボールペン「ユニボール シグノ 307」などを中心に、新たな筆記カテゴリーの一翼を担う商品の拡充に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は480億48百万円（前年同期比0.1%増）となりました。また営業利益は82億70百万円（前年同期比12.4%減）、経常利益は75億93百万円（前年同期比21.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億38百万円（前年同期比22.1%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、「ジェットストリーム」シリーズをはじめとする主力商品の販売が引き続き堅調に推移し、この結果、外部顧客に対する売上高は461億22百万円（前年同期比0.1%増）となりました。一方、その他の事業は手工芸品事業及び粘着テープ事業共に事業を取り巻く環境は厳しいながらも堅調に推移し、この結果、外部顧客に対する売上高は19億26百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産に関する分析

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて39億75百万円減少し963億92百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が19億42百万円、投資有価証券が28億24百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて38億65百万円減少し209億4百万円となりました。これは主として未払法人税等が19億31百万円、支払手形及び買掛金が6億31百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億10百万円減少し754億88百万円となりました。これは主として利益剰余金が38億78百万円増加したものの為替換算調整勘定が20億91百万円、その他有価証券評価差額金が19億89百万円減少したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年7月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第2四半期連結会計期間より、Assoun Distribution SA(平成28年4月15日付でMitsubishi Pencil France SAに商号変更)の株式を100%取得したため、連結の範囲に含めております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## (平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## (4) 追加情報

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,203	36,592
受取手形及び売掛金	17,506	15,564
たな卸資産	14,861	15,053
その他	2,823	2,819
貸倒引当金	△187	△295
流動資産合計	72,207	69,734
固定資産		
有形固定資産	12,724	13,284
無形固定資産	138	813
投資その他の資産		
投資有価証券	13,687	10,862
その他	1,610	1,698
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,298	12,560
固定資産合計	28,160	26,658
資産合計	100,368	96,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,609	7,978
短期借入金	1,098	1,076
未払法人税等	2,229	297
賞与引当金	514	1,174
返品引当金	65	39
その他	5,570	4,450
流動負債合計	18,088	15,017
固定負債		
長期借入金	—	6
退職給付に係る負債	3,480	3,644
役員退職慰労引当金	942	942
環境対策引当金	26	23
その他	2,232	1,269
固定負債合計	6,681	5,887
負債合計	24,769	20,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,583	3,583
利益剰余金	62,571	66,449
自己株式	△3,953	△3,957
株主資本合計	66,698	70,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,954	3,965
繰延ヘッジ損益	14	—
為替換算調整勘定	1,895	△196
退職給付に係る調整累計額	△271	△197
その他の包括利益累計額合計	7,593	3,571
非支配株主持分	1,305	1,343
純資産合計	75,598	75,488
負債純資産合計	100,368	96,392

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	48,020	48,048
売上原価	23,014	23,331
売上総利益	25,005	24,717
販売費及び一般管理費	15,564	16,446
営業利益	9,441	8,270
営業外収益		
受取利息	26	20
受取配当金	148	162
受取地代家賃	65	63
持分法による投資利益	16	51
その他	133	54
営業外収益合計	390	352
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	50	890
シンジケートローン手数料	37	39
売上割引	21	21
その他	15	69
営業外費用合計	133	1,029
経常利益	9,698	7,593
特別利益		
固定資産売却益	87	4
投資有価証券売却益	29	10
特別利益合計	117	14
特別損失		
固定資産除売却損	14	213
減損損失	—	16
投資有価証券評価損	—	4
出資金評価損	0	—
退職給付制度改定損	40	—
特別損失合計	54	234
税金等調整前四半期純利益	9,761	7,372
法人税等	3,335	2,244
四半期純利益	6,425	5,128
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	190
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,338	4,938

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年1月1日 至平成27年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年1月1日 至平成28年9月30日）
四半期純利益	6,425	5,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	480	△1,988
繰延ヘッジ損益	23	△14
為替換算調整勘定	△356	△2,204
退職給付に係る調整額	△1	73
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	146	△4,135
四半期包括利益	6,572	993
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,553	916
非支配株主に係る四半期包括利益	18	77

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年1月1日至平成27年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	46,079	1,941	48,020	—	48,020
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	13	32	△32	—
計	46,097	1,955	48,052	△32	48,020
セグメント利益	9,401	17	9,419	22	9,441

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	46,122	1,926	48,048	—	48,048
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	19	31	△31	—
計	46,133	1,946	48,079	△31	48,048
セグメント利益	8,217	36	8,253	17	8,270

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。